

事務事業名	コード	1900	広報活動費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒	主な事業	
		①	(広報あさひ)(各情報誌の作成)		一般	2	1	3		☐	国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	25	広報・広聴・情報公開の充実	根拠法令	旭市広報発行規則						☒	新市建設計画
	施策の展開	48	広報広聴活動の推進	戦略事業	222	広報あさひ発行					☐	定住自立圏構想
	施策の展開			戦略事業	223	各情報誌の作成					☐	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	【広報あさひ発行】 ・毎月2回(1日、15日)発行し、市政に関するお知らせやイベント情報、まちの話題などを市民に提供する事務事業。年間5回程度公民館だよりを折り込む。 【各情報誌の作成】 ・旭市市勢要覧を発刊し、市民をはじめ関係機関(市外も含む)に提供することで旭市を広くPRする。(5年に1回作成。平成29・30年度2か年の業務委託事業) ・市内の道路や公共施設、避難場所、観光スポットなどを紹介する旭市ガイドマップを作成し、市外からの転入者や来訪者に配布することで旭市を広くPRする。(5年に1回作成。) ・行政情報を掲載する市民便利帳を発刊し、市民に配布することで市民生活に役立つ情報などを提供する。(3年に1回作成。平成29年度官民連携事業で作成)	【広報】・市政に関する情報を市民に提供するために開始。・月2回発行。【市勢要覧】市内外に、旭市の人口・産業・経済・施設など各分野の情勢を紹介し、旭市をPRする。【ガイドマップ】市内の道路や公共施設、避難場所、観光スポットなどを紹介し、旭市を広くPRする。【市民便利帳】・市民に配布し、市民生活に役立つ行政情報などを提供する。	・SNSなどITの進化により、新聞を取らない人が増加している。・読ませる紙面から、見せる紙面に変わってきた。・観光パンフレット、防災マップなど、地図を使った類似する刊行物が増えた。・全国的には広告を掲載して発行費用を賄っている自治体が増えている。	・広報紙は「以前より読みやすくなった」「もっと若い興味を惹きつけて欲しい」などの声があった。・ガイドマップは市内の道路や公共施設、避難場所、観光スポットなどが縮尺25,000分の1の地図に掲載されているので「一目で旭市の情報が確認できる」との意見がある。・便利帳は、市民から「インデックスについていて見やすい」という意見がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.印刷製本費	11,136	広報紙印刷製本費
2.手数料	5,686	新聞折込手数料
3.委託料	4,808	刊行物作成委託費
4.その他	148	封筒印刷費、保存版製本費など
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	41	自衛官募集事務委託金
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

		単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1.印刷製本費	千円	11,379	11,139	11,113	11,136	11,849
	2.手数料	千円	5,860	5,832	5,739	5,686	6,056
	3.委託料	千円	0	0	1,297	4,808	1,127
	4.その他	千円	149	310	150	148	400
	事業費計(A)	千円	17,388	17,281	18,299	21,778	19,432
財源	1.国庫支出金	千円			27	41	
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	17,388	17,281	18,272	21,737	19,432

前年度増減理由	市勢要覧を作成したため増加した。
---------	------------------

従事職員数 常時 3人 最大 3人 × 365日 = 延べ 1,095人

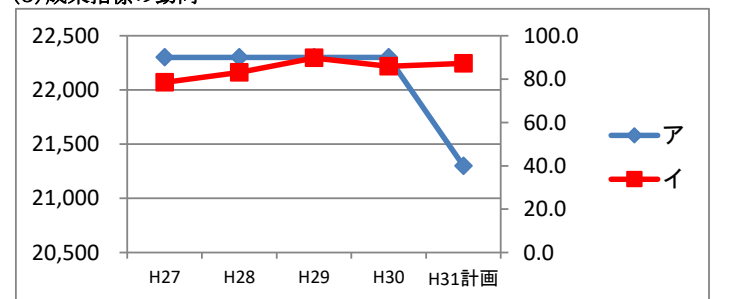
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 毎月1日と15日に「広報あさひ」を発行し、全戸に配布する(取材、企画・編集・郵送)。 市勢要覧を作成し、区長配布と窓口配布を行った。	ア「広報あさひ」発行回数	回	24	24	24	24	24
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 各情報誌の発行部数 (「旭市市勢要覧」、「旭市ガイドマップ」、市民便利帳の合計)	部	0	0	29,000	26,000	0
	対象 ・市民・公共機関(近隣市等)・在勤者・事業所・出身者 意図 ・必要な情報を得る・理解する・「広報あさひ」が市民生活の重要な情報源として活用される。 対象 ・市民・関係機関・来訪者 意図 ・市民生活に役立つ行政情報や旭市の魅力を知ってもらう。	ア「広報あさひ」発行部数	部	22,300	22,300	22,300	22,300	21,300
		イ 各情報誌の配布率 (累積配布部数/発行部数)	%	78.5	83.0	89.7	86.3	87.3

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい				④
普通				
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	旭市市勢要覧を新たに発行したため配布率が低下した。				ア 0 0 0 0 Δ1,000 イ 4.8 4.5 6.7 Δ3.5 1.0
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
	～R2.3月	特集記事を作成し、掲載する。		～R2.3	特集記事を作成し、掲載する。	